

# 一般質問

2月15日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



自民党  
田中やすのり



## 長期的な未来予測に基づく区政運営を

【質 問】2050年のあるべき姿を描き、実現のために逆算して何をすべきかを考える区政運営が必要。見解は。

【区 長】人口ビジョンは2045年、公共施設等ベースプランは2055年までを見通し、基本計画などの総合計画を策定している。今後も、長期的な未来予測をしながら、あるべき姿を検討していく。

## ナッジ・ユニットの設置を

【質 問】自発的により良い選択をとれるよう手助けするナッジ施策の知見を集約し、各部署からの相談を受け、ナッジの推進を図るナッジ・ユニットを設置すべき。

【区 長】優良事業等報償制度の対象項目に「ナッジを効果的に活用したもの」を加え、全庁的な活用促進につなげる。

## 新型コロナウイルスの3回目接種について問う

【質 問】現状を踏まえ、今後の展開について見解は。

【区 長】区内医療機関の協力もあり、国や都の平均を上回るペースで進んでいる。今後も、わかりやすい情報発信に努め、希望するすべての区民が速やかにワクチンを接種できるように体制を整えていく。

## 富士山噴火時への備えを問う

【質 問】国の報告では、富士山噴火時の広域降灰の影響や対策の留意事項が示されている。区としても今後の備えについて検討を始めるべき。

【区 長】降灰対策は国や都と連携した広域的な対応が必須である。まずは区として、噴火の可能性や影響に関する区民への周知方法や職員参集の基準など、基本的な考え方を整理していく。

## 子ども家庭総合支援センターの職員配置について問う

【質 問】4年4月の開設に向け、必要な人員は全職種で配置できているか。

【区 長】児童福祉法や児童相談所運営指針などに定められている基準を満たす職員を配置する。



自民党  
杉田ひろし

## ひきこもり支援について問う

【質 問】発達障がい者支援センターと連携し、効果的な

【質 問】子ども医療費助成の高校生への拡大について問う

【質 問】都は4年度予算にシステム改修経費を計上したが、区の予算案には計上されていない。今後の区の方針は。

【区 長】都は財源負担割合を含めた制度の具体的な内容について、区市町村と調整を図るとしており、今後の協議を踏まえ、方向性を検討する。

## 成増駅周辺の喫煙所を問う

【質 問】受動喫煙防止対策のため、コンテナ型喫煙所の設置を求める。見解は。

【区 長】歩行者動線の確保などの課題が多く、適切な用地を得るに至っていない状況を引き続き、設置に向けた必要な方策を検討していく。



支援の実施を。

【区 長】発達障がい者支援センターをはじめとする専門機関と連携し、総合的な支援を行うっていく。

【質 問】4年度予算案にひきこもり支援の強化を打ち出した区長の決意は。

【区 長】当事者やその家族への支援は、身近な相談窓口である区がアプローチする必要がある。早期にニーズを把握し、支援につなげていく。

## 発達障がい者支援センターの相談待機者の解消を

【質 問】ひきこもりの相談窓口を福祉部に設置し、発達障がい者支援センターを発達障がい者の相談窓口の特化する

【区 長】センターの人員増による体制の強化や相談体制の工夫により、相談待機者の解消を図るとともに、発達障がいを取り巻く全体像を捉え、支援に取り組んでいく。

## 重度知的障がい者のグループホームの整備について問う

【質 問】板橋キャンパスの障がい福祉サービス事業所の整備にあたり、行動障がいのある重度知的障がい者の受入れに向けた進捗状況は。

【区 長】グループホームで重度重複障がい者や、強度行動障がいのある方の受入れを検討しており、実現に向け事業者との協議を進めていく。

## 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)について問う

【質 問】2年度からiCSを本格導入したことによる成果について問う。

【教育長】各校で独自の取組みが始まっており、子ども食



公明党  
さかまき常行

## 財政運営について問う

【質 問】法人住民税の一部国税化の影響が3年度以降常態化していくが、今後の影響をどう捉えているか。

【区 長】4年度の区の影響

【質 問】絵本館の取組みの充実について、今後の展望は。

【教育長】区の重点施策であるブランド戦略「絵本のまち板橋」の発信拠点となり、絵本の魅力をわかりやすく届け、地域の活性化を図っていく。

## 史跡公園の周知について問う

【質 問】多くの区民が史跡公園に興味を持ち、理解することが必要。現在の取組みは。

【教育長】国史跡指定を受けた平成29年から毎年、史跡公園を公開し、周知してきた。今後も、産・学・官が連携し、区の産業発展の歴史の地として周知を図っていく。

## 協議会の設置、慢性閉塞性肺疾患患者への携帯型パルスオキシメーターの支給、区立特別養護老人ホームの民営化方針について質問があった

【質 問】最新情報を早く正確に、必要な人に届けるためプッシュ機能を持ったツールを活用し、積極的な発信を。

【区 長】より多くの方が情報を得られるよう、内容に応じてプッシュ機能を有するツイッターなどを活用した発信に取り組んでいる。

額は87億円に拡大する見込み。今後も、地方固有の財源を不当に収奪する税制改正を改めるように国に強く要請していく。

## 新型コロナウイルス対策を問う

【質 問】小・中学生に配付しているタブレット端末に不具合があり、今般、メーカーが自主点検を実施することになった。同様の障害は今後もあり得るが、こうしたリスクを踏まえた今後の対応は。

【教育長】家庭にある端末の活用や臨時的な環境整備をはじめとする具体的な対応について、検討を進めていく。

## DXの推進について問う

【質 問】3年度の情報システムアドバイザリー業務におけるICT活用検討支援の実績と成果は。

【区 長】10業務を選定し、業務フローを見直すとともに、業務改善の提案などを進めており、各課での業務改善検討が効果的に進められている。

## 行政ポイントとデジタル地域通貨の連携を

【質 問】区が指定する事業に参加した方に付与する行政ポイントを、デジタル地域通貨で付与することを提案するが、見解は。

【区 長】現在実施しているいたばし環境アクションポイント事業で付与されたポイント

ント事業で付与されたポイントは、区内共通商品券と交換が可能であり、デジタル地域通貨への交換も検討していく。

## 板橋駅前広場の喫煙所を問う

【質 問】駅前広場に設置されたパーテーション方式の喫煙所の将来的な方向性は。

【区 長】現行の喫煙場所は暫定的な措置であり、密閉型喫煙所の設置をめざす方針に変更はない。将来的な設置場所は、区民の理解を得ながら検討を進める。

## 高校生の医療費無償化の実現を求めて

【質 問】都が4年度予算に各自自治体の準備経費を計上したが、高校生の医療費無償化に向けた区の見解は。

【区 長】都は制度の具体的な内容について、区市町村と調整を図るとしているため、今後の協議を踏まえ、方向性を検討していく。

## 子ども・子育て分野を含めた包括ケアの構築を

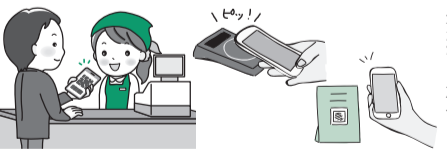
【質 問】児童館をアウトリーチ活動の拠点と定め、子ども家庭総合支援センター中心のネットワークを構築することが有効と考えるが、見解は。

【区 長】地域保健福祉計画で掲げる「板橋区版包括的な相談支援体制」の構築において、子ども子育て分野の相談支援体制の強化を図っていく。

## ひきこもり施策について問う

【質 問】福祉部にひきこもり対策担当係長が設置されるが、今後の取組みは。

【区 長】実態調査による支援ニーズの把握のほか、関係機関との連携・調整を行い、



孤立化を防ぐネットワークを構築する。

## 都立・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求めて

【質 問】法人化により、医療従事者の退職希望者が多いと聞かすが、医師不足などで、病棟や診療閉鎖の可能性は。

【区 長】医療現場の実情に応じた勤務制度などの仕組みの構築により、機動的な医療人材確保が可能となるため、病棟閉鎖や診療閉鎖は生じな

## 新型コロナウイルスから区民の命と健康を守るために

【質 問】第5波での経験を踏まえ、第6波に向けてどのような対策を講じたか。

【区 長】業務の効率化や、患者発生数を指標とした全庁的な保健所支援体制の構築などを行った。急速な感染拡大は区の想定を超えているが、迅速に体制強化を行っている。

## 都立・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求めて

【質 問】法人化により、医療従事者の退職希望者が多いと聞かすが、医師不足などで、病棟や診療閉鎖の可能性は。

【区 長】医療現場の実情に応じた勤務制度などの仕組みの構築により、機動的な医療人材確保が可能となるため、病棟閉鎖や診療閉鎖は生じな

## 都立・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求めて

【質 問】法人化により、医療従事者の退職希望者が多いと聞かすが、医師不足などで、病棟や診療閉鎖の可能性は。

【区 長】医療現場の実情に応じた勤務制度などの仕組みの構築により、機動的な医療人材確保が可能となるため、病棟閉鎖や診療閉鎖は生じな